

【読者参加企画】

私のひとり旅

28

「今回の旅人」谷田 幸さん(神奈川県在住)

発端は教科書の「カブトビール」の看板

ビール好きの私。高校で日本史を教えているが、教科書に載っている名古屋の米騒動を描いた絵の中の「カブトビール」の看板がずっと気になっていた。そのカブトビールが復刻されたとき、知多半島の半田・常滑を巡る旅に出た。

新幹線で名古屋に行き、名鉄に乗り換えて住吉町へ。のどかな駅前に、カブトビール製造工場であった半田赤レンガ建物がどんと構えていた。国の登録有形文化財、近代化産業遺産に登録されている建物内部の展示室には、往時の看板や写真が並ぶ。教科書の絵の看板にもとうとう出会えた。この地から本格ドイツビールに挑戦した気骨と、時代を生き抜き再び甦った赤レンガ建物に敬意を表しつつ、敷地内のカフェで復刻された色の濃いカブトビールを味わった。続いて、紺屋海道を歩いて、中笠酒造の國盛酒の文化館に向かう。200年間酒造りが行われていた酒蔵で、伝統的な道具や資料を見る。酒造で栄えたこの土地の商人が、上方に對抗し江戸へ販路を開拓していった声が聞こえてくるようだ。

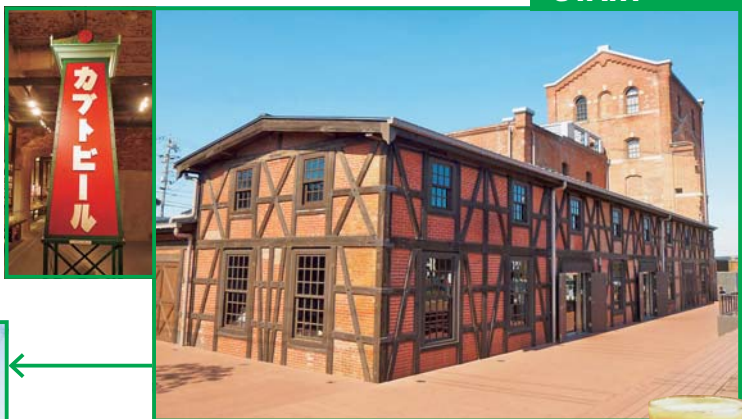
旧中笠半六邸、小栗家住宅など豪商の邸宅を通り、MIZKAN MUSEUM(愛称MIM)へ。予約していたガイドツアーで館内を廻る。酒造業を営んでいた初代中野又左衛門

醸造の町・半田と窯業の町・常滑 知多半島、産業体験ひとり旅



JR新横浜駅から名古屋駅まで新幹線で約1時間20分。名鉄名古屋駅から常滑線・河和線(直通急行)で住吉町駅まで約30分

START 1日目



上: 太平洋戦争中は当時国内最大の航空機メーカー・中島飛行機の倉庫だったため、機銃掃射を受けた跡が残る、半田赤レンガ建物 左: 展示室にはカブトビールの看板や広告塔が

半田赤レンガ建物

はんだあかレンガたてももの ☎0569-24-7031 愛知県半田市榎下町8 ☎9~17時(カフェ、ショップは10時~) ㊿無休 ㊿名鉄河和線住吉町駅から徒歩5分



カフェでの昼食。念願のカブトビールを堪能

高校で日本史の教師をしている、横浜市在住の谷田さん。ビール好きゆえ、米騒動を描いた絵の中の「カブトビール」の看板が気になって、尾張は半田と常滑へ。知多半島の産業、醸造と窯業の歴史を辿る、ひとり旅に出かけました。



約200年間、実際に酒造りが行われていた黒壁の建物をそのまま利用している

國盛酒の文化館 くにごかりさけのぶんかかん ☎0569-23-1499 愛知県半田市東本町2-24 ☎10~16時 ㊿木曜 ㊿無料(要事前予約) ㊿JR武豊線半田駅から徒歩7分



右: 運河沿いの黒塀の景観をそのまま残す、MIZKAN MUSEUM(愛称MIM) 左: 粘土で作ったシャリとシリコンのネタで、握りすし職人になりきり体験

お小遣い合計 **4万64円**

- 新幹線・名鉄乗車券 2万2490円
- 宿泊代 1泊 6100円
- 飲食代 5274円
- 入場料、体験料など 2600円
- 土産代 3600円

が、酒粕を利用した粕酢作りに成功。江戸で流行していた早寿司を握りにマッチし、ミツカン酢としてブランド化した。その四代目が手がけたのがカブトビールであった。時代の変遷を読み取り、醸造への挑戦を続けた半田商人の開拓者精神に感動した。

酒・酢を江戸に運んだ港、半田運河沿いには今も黒い蔵が並ぶ。往時の賑わいを偲びつつ散策し、この日の宿、半田駅前のホテルへ。夕食は名物・櫃まぶしを堪能。

新時代に挑戦した産業の歴史を実感

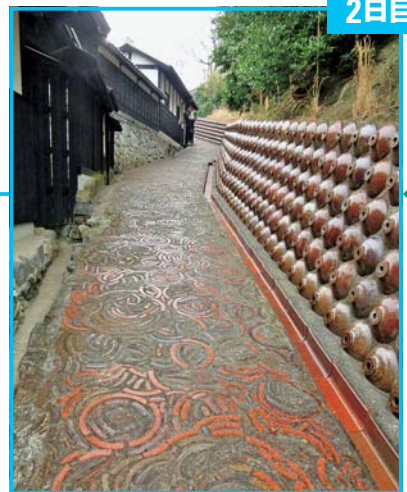
2日目は、バスで常滑へ。雨の中、常滑やきもの散歩道を歩く。民家の間の狭い道、土管や焼酎瓶が積まれた土管坂。道に埋め込まれた焼物の模様が芸術的だ。雨に濡れた土管や瓶はつやがあつてまた美しい。誰ひとり観光客に出会わず、散歩道を独占。

道端にたくさんさんの陶彫が並ぶ中央商店街を進み、INAXライブミュージアムへ。常滑焼は、明治以降土管へ、そしてタイルなどの建築陶器へと発展していった。タイル博物館には紀元前からの世界の装飾タイルが展示されている。陶楽工房でモザイクアートに挑戦。小学校の図工の時間のように熱中した。

この後さらに、名古屋のノリタケの森にも足を延ばした。アメリカ向けの白い洋食器・ディナーセットの開発に取り組んだ苦難と、歴代の洋食器の美しさに息をのむ。

今回の知多半島の旅。醸造・陶器の歴史を学べただけでなく、それに関わった人々の挑戦心が新たな産業につながってきたことがよくわかった。自分の足でじっくり歩いた賜物であった。

2日目



常滑のやきもの散歩道(土管坂)。土管や焼酎の瓶の廃材が、地面や壁に埋め込まれている



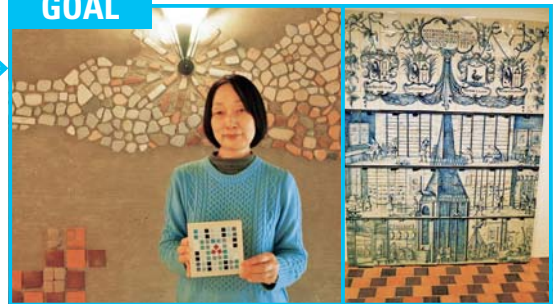
重要有形民俗文化財に指定されている登窯。
明治末期の姿をとどめている
常滑やきもの散歩道 とこなめやきものさんぼみち
☎0569-34-8888(常滑市観光案内所)
🚶名鉄常滑線常滑駅から徒歩5分の陶磁器会館から、
Aコース(所要1~2時間)、Bコース(所要2~3時間)



散歩道沿いに並ぶ個性豊かな陶彫



GOAL



右: 世界各地のタイルが展示されている、世界のタイル博物館
左: INAXライブミュージアムの陶楽工房で、モザイクアートに挑戦

INAXライブミュージアム イナックスライブミュージアム
☎0569-34-8282 愛知県常滑市栄栄町1-130 ☎10~17時(入館は~16時30分) ⑧水曜(祝日の場合は翌日) ⑨600円(共通入場券)。陶楽工房でのモザイクアート体験は要予約、1200円(10×10cm)から 🚶名鉄常滑線常滑駅から知多半田駅行きバスで約15分、INAXライブミュージアム下車、徒歩2分

自分と友人へのお土産に



右: 復刻されたカブトビール。明治・大正の2種類の瓶ビールを自宅に送る。
左: MIMで作った、自分の写真入りの「マイ味ぼん」

皆さまからのプランをお待ちしています!

「私のひとり旅」では、あなたのとっておきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の様子をレポートして下さい。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担下さい。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募下さい【①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)】

郵送

〒162-8446 東京都新宿区払方町25-5
JTBパブリッシング
『ジュール』私のおひとり旅 係
FAX ▶ 03-6888-7839
メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp
※いずれも「ジュール 私のおひとり旅」と明記のうえ、お送りください。